

平成 28 年度 向山小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

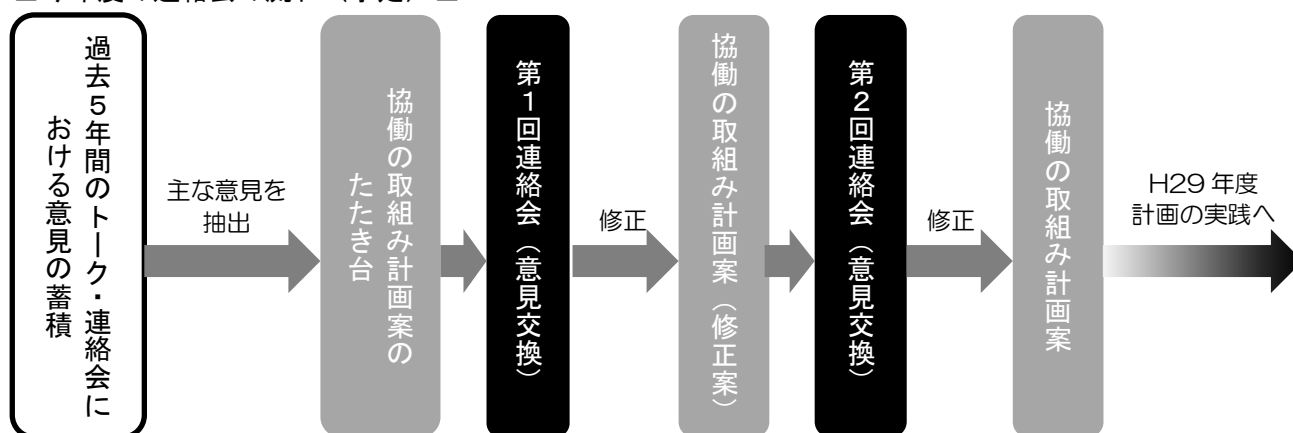
6月2日（木）に開催された「向山小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日 時	平成 28 年 6 月 2 日（木）19:00～20:40		
会 場	錦田公民館		
参加団体 (27 名)	夏梅木町内会 中自治会 錦が丘自治会 中島町内会 多呂自治会 三島パサディナ自治会 中郷地区自治会連合会 交通安全母の会	組合立若葉保育園 大場幼稚園 向山小学校 向山小学校 PTA 中郷中学校 中郷中学校 PTA 中島子ども会 学校支援地域本部	環境美化推進委員会 消防団第8分団 保護司会 保健委員会 夏梅木幸生会 多呂北沢双葉会 中郷地区地域包括支援センター

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- ◆三島パサディナ自治会：今年度から「自治会ボランティア・サポーター」制度開設(応募 18 名)。11 月下旬ミニ文化祭を開催、学校児童の作品もぜひ出品願いたい。世代間交流を進めていきたい。
- ◆中郷地区自治会連合会：積極的に行事に参加し、地域の交流を深めてほしい。ポン菓子の機械を購入し講習会を実施する、様々な行事で活用し多くの方と楽しんでほしい。
- ◆体 育 振 興 会：月 1 回イベントを実施。10/9(日)運動会を開催、多くの方の参加を希望、ぜひ声掛けをお願いしたい。運動量の少ない種目もある。

※[訂正] 中島町内会:9/11(日)の町民運動会は今年で5回目。(誤:5回目→正:51回目)

意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

こんな小学校区にしたい

【Aグループ】

● あいさつ

- ・心をこめてあいさつをしよう
- ・あいさつができる子に
- ・皆であいさつしあえる校区
- ・笑顔であいさつできる校区

● 思いやり・支え合い

- ・温かいつながりのある校区
- ・お互い支え合い、声掛けできる地区
- ・明るく思いやれる校区“向山”
- ・思いやり心豊かな
- ・子どもから高齢者まで皆にやさしい向山

● 子ども・笑顔

- ・子どもの笑顔の多い地区
- ・親子で触れ合える校区

● 安心・安全

- ・安心安全な校区
- ・安心安全、心ある向山

【Bグループ】

● あいさつ

- ・あいさつ

● 思いやり・支え合い

- ・思いやり
- ・あたたかい町
- ・皆にやさしい向山
- ・支え合い

● 子ども・笑顔

- ・笑顔
- ・笑顔が一番、向山の子ども

● 安心・安全

- ・安心なまち

● その他

- ・地域がなかよし向山
- ・顔が見える
- ・お年寄りが元気
- ・暮らしたい

お困りごと・現在の状況

	A グループ	B グループ
災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災のマナー化 	<ul style="list-style-type: none"> ・黄色いハンカチを配布しただけではダメ。 ・黄色いハンカチを使った訓練をしても、その結果のフィードバックがない。 ・小学生が帰宅した時、親が留守の時間帯があり、地震時などは危険。
地域住民の交流	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサロンとして、月 1 回公民館を開放しているが(カラオケやお茶等を提供)、継続のためにも今後どのようにプログラムを発展させたらよいか。(パサディナ自治会) 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・向山校区祭に参加したくても、高齢者は遠くて足がない。歩くと 30~40 分。 ・校区祭に高齢者の種目がない。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードの服装をしていないと、あいさつしない。 ・南高生の大場清掃。
担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に高齢世帯が増えており、見守りに課題が生じている。 ・消防団だけでは町内をみきれない。 	

取組みたいこと

災害に備えよう		
	A グループ	B グループ
中高生への教育・訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練で中学生に役割を与え、<u>主体的に参加</u>してもらおう。テーマを与え参加させる。 ・防災訓練で中学生に役割を与え、主体的に参加してもらおう。 ・小中学生が楽しみながら、参加できる防災訓練を企画する。 ・中学生を訓練に参加させたいが、<u>具体的な訓練内容</u>など検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生にどこまでやらせることができるのか？中学生への訓練・教育はOKだが、実際の災害では、あてにできない。 ・中高生の力が重要なので、<u>子どもの頃からボランティアに参加</u>すべき。 ・中高生が参加しやすい<u>防災訓練</u>、参加して<u>楽しい防災訓練</u>を考えよう。 ・来て楽しい防災訓練をやりたい。・子どもに対する<u>親の防災指導</u>が大切。両親がどれだけやらせるか？
訓練の日程調整	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの中学生が地域の防災訓練に参加する<u>日程調整</u>が必要。体育祭、合唱祭があるので、夏休みが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を8月に開催するのはやめたほうが良い。涼しい時期に行ってほしい。 ・<u>夜間</u>の防災対応が必要。 ・訓練を夜間にもやりたい。
ジュニア防災士の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が連携し、<u>ジュニア防災士の養成</u>を継続することは良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ジュニア防災士の養成</u>は継続する。
小学生親子の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加し、<u>楽しめるイベント</u>を行う。 ・向山小おやじの会の宿泊訓練に、避難所訓練のプログラムを取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>かえるキャラバン</u>のようなイベントをやろうと考えている。(向山小 PTA)
連携・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団だけでは地区すべてを見切れないので、<u>町内会と消防団が連携</u>し、役割をどのように決めるかが大切。 ・大規模災害を想定した防災訓練の実施。役割を明確化。 ・<u>避難所ごとの防災訓練</u>があってもよいと思う。(例：向山小に集まるいくつかの自治会の集合訓練) 	

住民のふれあい（交流）を増やそう		
	A グループ	B グループ
不審者対策	・「 <u>かけこみ 110 番のお宅に子ども達があいさつして回る</u> 」は、場所も確認でき良いと思った。	・子どもから大人へ <u>あいさつ</u> すべき。
校区祭の見直し・活用	・高齢者が出場できる種目が少ない。 <u>高齢者も出場できる種目を増やす</u> 。(走らない種目など) ・校区祭の種目、 <u>運営方法を見直し</u> 、現状に合ったものにする。今のままではじり貧、交流も増す方向ではない。	
交流の場作り	・自治会集会場を1日開放し、参加者に好きなことを楽しんでもらう企画はどうか？ ・一日公民館を開けることは、管理上難しい。 ・ <u>サロン(交流の場)作り</u> の検討。 ・きずな交流会(食べて、おしゃべり)を、回を重ねて行う。 ・一歩前に出て、 <u>触れ合い語らう心</u> を持ってほしい。過去4年間の積み重ねが花開くように。	
その他	・保育園と高齢者との交流としてデイサービス訪問を年1回行っているが、高齢者の方に保育園に来ていただき、昔の遊びを教えるなどの交流ができると良い。 ・保育園の子育て支援(月2回)に来る未就園児が少ないので、もっと活用してもらえると良い。	・向山小おやじの会が宿泊訓練を開催する。肝試しを行ったらどうか。

子どもたちが地域のために活躍する場を作ろう		
	A グループ	B グループ
ボランティア	・高学年(5・6年生)ができる役割を設定し、ボランティアとして参加を募る。	
既存の場を 活用	・防災訓練の場を生かす。	・学校支援地域本部に協力してほしい。ボランティアを募集している。

意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

◆こんな小学校区にしたい

- 「あいさつ」や「思いやり」、「支え合い」、「子ども」、「笑顔」などの言葉を組み合わせる。

◆お困りごと・現在の状況

- 「学校支援地域本部でボランティアに協力してくれる人を募集している」ことを追加する。

◆取組みたいこと

<災害に備えよう>

- 中高生は、災害時に保護者の許可なしに学校から救助のために被災現場に向かわせることが難しいので、中高生への防災教育や防災訓練は良いが、実際の災害時にあてにできないことを書く。
- 訓練日の統一は、小中学生だけでなく、高校生も含める。
- 「夜間の防災訓練を検討する」ことを追加する。
- 避難所ごとの防災訓練について追加する。

<住民のふれあい(交流)を増やそう>

- 「校区祭で高齢者も出場できるような種目をやれないか検討する」ことを追記する。
- 「高齢者が地域の子どもたちに昔の遊びを教える機会を設ける」ことを追記する。
- 「サロン(交流の場)づくりの検討」について追記する。

<子どもたちが地域のために活躍する場を作ろう>

- 「おやじの会が学校に泊るイベントを開催するので、その時に地域の方も協力して肝試しを行うことができないか検討する」旨を追記する。